

審議会等の会議の開催結果

1 会議の名称	令和元年度加東市学校給食センター第2回運営委員会
2 開催日時	令和2年2月21日（金）13時30分から14時30分まで
3 開催場所	学校給食センター 2階 会議室
4 議題及び審議の概要	<p>【 議 題 】</p> <p>(1) 令和元年度学校給食費の状況について</p> <p>(2) 令和元年度事業実施状況について</p> <p>(3) 令和元年度かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニューについて</p> <p>(4) 令和元年度食育推進事業について</p> <p>(5) その他</p> <p>【 会議結果 】</p> <p>(1) 委員長を選出し、(1)～(5)の資料等に基づき審議しました。</p> <p>【 質疑応答及びその他 】</p> <p>(1) 質疑応答</p> <p>委 員：給食を非常に安い値段で作っておられるのに驚きました。今、新型コロナウイルスがはやっています。マスクとか衛生用品は、大丈夫ですか。</p> <p>事務局：今、マスクが非常に不足していますが、在庫分を確保しています。また今後のことを考慮して、衛生上問題のないように計画的に使用するようにしています。</p> <p>委 員：皆さんも心配されておられますが、幸い今日現在では、兵庫県は一例も出ていませんが、いつ出てもおかしくないと思います。国も不要不急の外出は避けるようにとか、集団でのイベントが中止されているので、万が一起こったら、学級閉鎖とかになるかもしれないので、大変だと思います。</p> <p>委 員：私どもの子どもが、今年、最後の給食になり、約9年間に渡って給食を食べさせていただいて本当に有難うございました。兄弟2人ですが、やっぱり給食は一生の思い出になると思います。私も自分が食べた給食が思い出として、記憶に残っています。学校行事の中で給食の試食をする機会があり、「結構薄味だな」とか、「ちょうどいい味だな」とか、自分にとっても食育の勉強でよかったと思っています。子どもは、高校生になったらお弁当になるので、給食が食べられないのは残念ですが、今後も学校で食育の勉強があって、給食が食べられるといいと思います。</p> <p>委 員：いつも子供たちのためにおいしい給食を作ってもらって、有難うございます。家で子どもと給食、今日おいしかったよ、「おかわり何回したよ」とか、そういう子供とのコミュニケーションが、とれたりするので、いいと思いました。また、子どもは嫌いなものもあるので、それが出たときは先生に「鼻つまんで食べたら大丈夫だよ」と言われて食べているそうです。どうも有難うございました。</p>

委員：委員会に参加して、地産地消ということを改めて教えていただいて、いろいろ工夫されて我々も勉強になります。どのようにしてこれを広げていかれるのか、維持されるのか、いろいろご苦労あると思いますけども、頑張ってやっていただいたら嬉しく思います。

委員：過去に自分が食べてきた給食と比較して、今も食べていると思います。ご飯があっただかい、お汁があっただかい、逆にゼリーが、一番食べごろの状態を食べることができる。以前はそうではなかったと思いながら、冷めたご飯が今はなくて有難いと思います。

もともと魚を食べるのが苦手ですが、ここ数年では、骨のない魚で非常に食べやすくなっています。最近では骨がある魚が出る時もあり、非常に大事なことと思います。子どもたちは、そういう加工前の魚も含めて食べていくようになっていくのがいいと思います。

委員：限られた予算で、毎年工夫をしてメニューを考え、提供され有難いと思います。もち麦ご飯も美味しかったですし、自分で巻く恵方巻きもアイデアがいいなと思いました。小学校で、きゅうりを取獲して給食で使って頂いた時、2年生の子どもが本当に教室で嬉しそうに、「僕らが作ったきゅうりや」と、喜んで食べていました。食べ物と生産者との思いを、少しでも共感できるという取り組みは、本当にいいと思いました。

また、給食委員が、本日のメニューを紹介しますが、すごく丁寧な説明内容で、そのおかげで、生産者さんへの思いとか、健康のために野菜を食べるといった思いも一緒に食べる気分で、食べる人と人の思いをつなぐことが大事だと思います。

委員：朝、学校に行きづらいとか、しんどい、冬場は寒いといったとき、「今日の給食これやで」と言って献立表を見て、「それやったら」とスイッチが入って元気になるというのも、大きな給食の効果の一つだと思います。子どもは、学校が勉強の場ですが、食べたり、遊んだりして成長していく中で、給食の果たしている役割は大きいと感じます。

地産地消や特別メニューなど、市からの補助で工夫されているということで、チキンライスの上に薄焼き卵をのせて食べているのを見て、「こうしたらあかん」、「鼻つまんで食べたら」みたいな話をして、見ながら残さいを減らしています。また、卵の上にいるんな絵を描いて、楽しんでいるのを写真に撮って、貼り出したりして、これも食育だと思っています。

委員：2月4日に「恵方巻き」を子どもに体験させるという話があり、兄弟や学年、また1年と6年、2年と5年で巻くのを教えて食べるようにしました。6年生や5年生に低学年の前で恥をかかせたらだめなので、先に練習をして教えてあげることになりましたが、自分で失敗した子が、低学年のほうへ行って、「こうやって巻くんやで」と、指導している姿や、一緒の方角を向いて、兄弟学年と一緒に食べて、記念撮影ができたことは、本当にいい経験になったと思います。また、生産者と調理者と児童が、つながっていくと思います。

教育長：「かとうの給食」というお便りを毎月保護者へ献立表と一緒に届けています。ご家庭で読んだり見たりされていると思います。

今回、3月の「かす汁」ですが、子どもにとって余り好きじゃないかもしれないという不安を持ちながらも、実はここに書いてある、滝野地域の蔵元の酒かすを使うという予定です。

今、話がありましたが、生産者とつながっているというようなことも、また家庭でその話題が出たら嬉しいと思っています。

	<p>(2) その他 事務局から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食物資納入状況について (地元産食材の使用率) ・学校給食費の徴収について (法的手続きの状況) ・学校給食栄養価について (3大栄養素の推移) <p>【閉 会】 教育振興部長 閉会のことば</p>
5 傍聴者数	0人
6 問合せ先	加東市学校給食センター 電話 (0795) - 42 - 0074
7 その他	出席及び欠席委員の人数 【出席委員】 7名 【欠席委員】 2名 委員の過半数が出席し、委員会は成立した。